

iCDとHRマッチング部会のご案内

実証プロジェクト企画

一般社団法人iCD協会

1.iCDとHRマッチング部会のミッション

2.実証プロジェクト参加のお願い

付録:マッチング向上に向けたソリューションのご紹介

1-1. iCDとHRマッチング部会のミッション

(一)iCD協会：独立行政法人情報処理推進機構(IPA)が公開した「iコンピテンシ ディクショナリ」(以下「iCD」)に関する調査及び研究、普及啓発及び指導、情報の収集及び提供等を行い企業目標の達成を支援、産業経済発展に寄与することを目的として2018年設立・運営。

iコンピテンシ ディクショナリ=iCD：
業務(タスク)と能力(スキル)を網羅した2つの辞書。業務見える化により問題解決へ。

会社の強みと弱みが見えていない

社員のスキルを把握しきれていない

- ✓ 会社の業務を把握しきれていない
- ✓ 自社に必要な人材がわからない
- ✓ 事業成長を妨げている原因が見えていない
- ✓ 社員の足りないスキルが見えていない
- ✓ 自社に必要な人材育成の方法がわからない

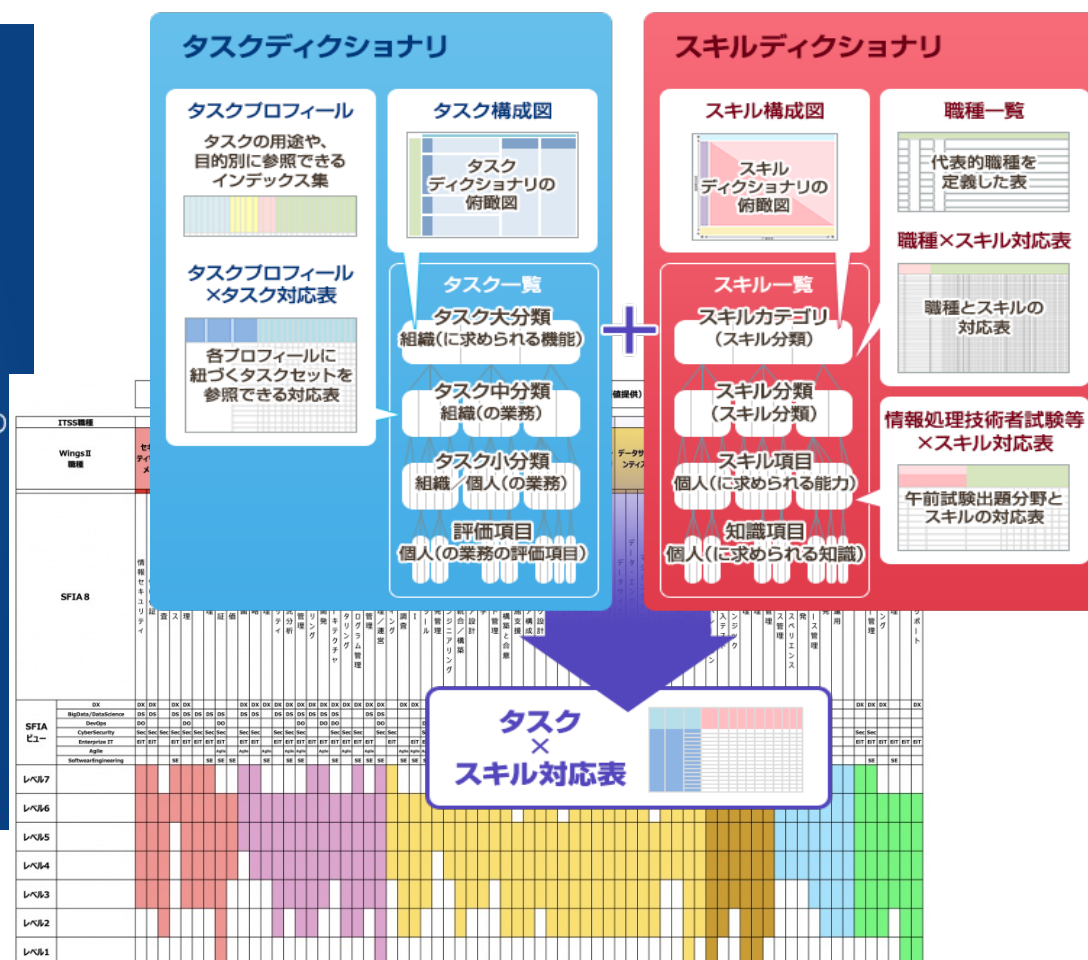
社員のモチベーションを上げる方法がわからない

プロジェクト成功のためのアサインができない

人材育成か、アサインか、他社とのアライアンスか

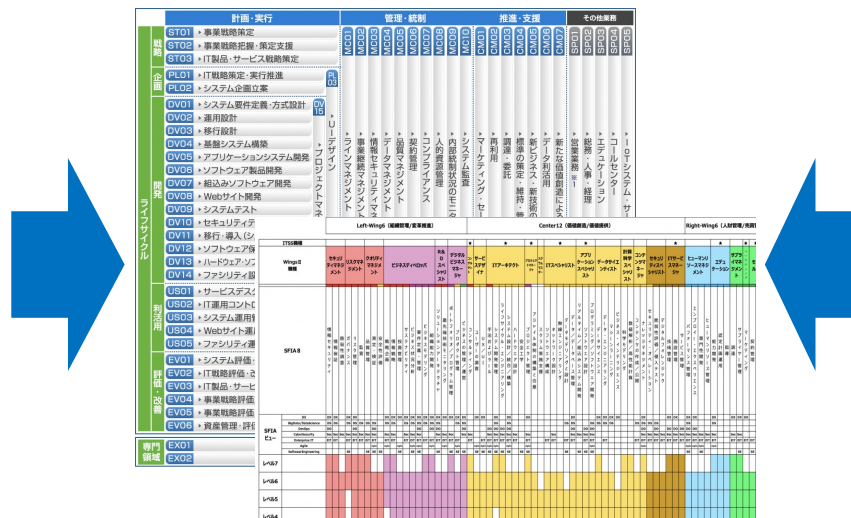
新規ビジネスの創出か、コア事業への注力か

ビジョンに沿った事業計画を実行できない



る

タスク・スキル(ヒューマン・コンセプトチャル含)の要求・提案のギャップに起因、このギャップを解消する必要がある、ジョブ可視化・アンマッチ分析するため、マッチング機会を創出していく必要がある。

[illegible][illegible]iCD タスク
Wings(タスクと連動した拡張版ITSS)

1-3. iCDの拡張性

1) ITSSの職種はそのままで新たに必要な職種／専門分野を定義

既存のITSS領域の両翼に、新領域としてSFIAを参照した職種／専門分野を示す形で提供します。

ITSSはITベンダーやIT子会社がお客様に提示する人材像を中心とした定義であるため、その領域は実装・運用が主となっています。よって新領域は、自社内で職種／専門分野を拡張して対応すべき領域、具体的には戦略系人材やコーポレート人材等が担う価値創造／意思決定／マネジメント等の分野が主となります。すなわちITベンダーやIT子会社が新領域の対応を目指すことは、「ビジネスモデルの変革」へと繋がっていきます。

両翼の新領域について

- 左翼（L-Wing）は、価値創造／意思決定等（戦略と構想、変化への対応 等）の領域です。
- 右翼（R-Wing）は、マネジメント等（リソース・品質・サプライ等の管理）の領域です。
- 新領域の職種や専門分野の内容は、SFIAの職務記述書形式にて把握できます。かつ iCDと紐づいているため、タスクにて把握することが可能です。

メリット:ITSSに加え、マネジメント・戦略策定領域へ拡大

1-4. iCDの網羅性

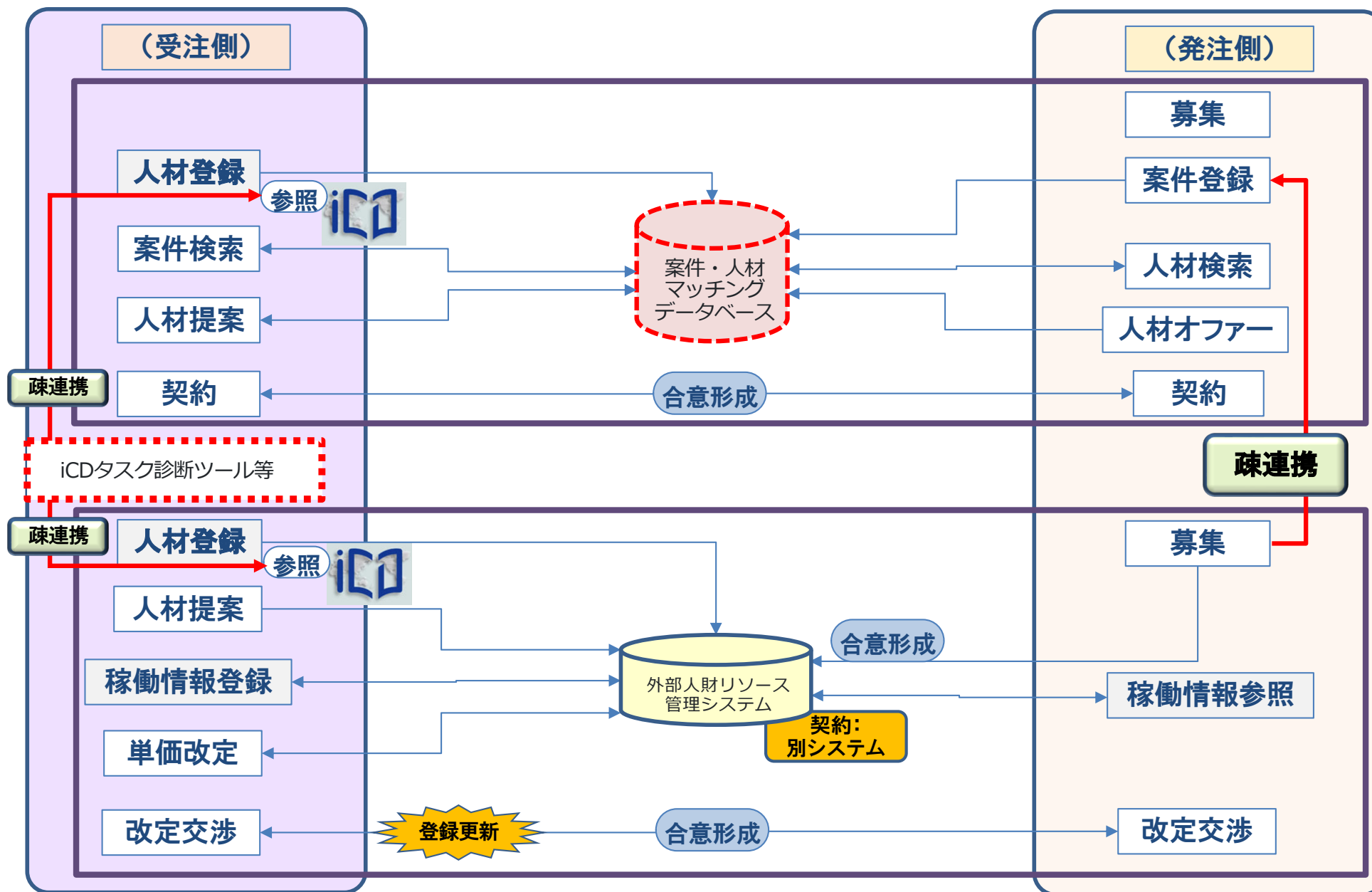
[illegible]

多様なマトリックスでジョブを区分・表現

・関係があるものに◎を記載

システム化要件定義

iCDを指標としたマッチングモデル 構想



2-1.実証プロジェクト参加のお願い

■ 実証プロジェクトの概要

iCDを共通の尺度とすることで人材調達のマッチング精度の向上を図るための実案件・実人材のマッチングを試行し、マッチング満足度を調査するプロジェクト

タスク・スキル(ヒューマン含む)の要求－提案のギャップを解消する必要があり、ジョブ可視化・アンマッチ分析するため、マッチング機会を創出します。

■ 参加のお願い(いずれでも可)

1) 発注側企業様

自社案件で必要とする**募集案件の共有**をお願いいたします。

募集人材の要件を「iCDタスク項目」で示して頂くご協力をお願いいたします。

2) 受注側企業様

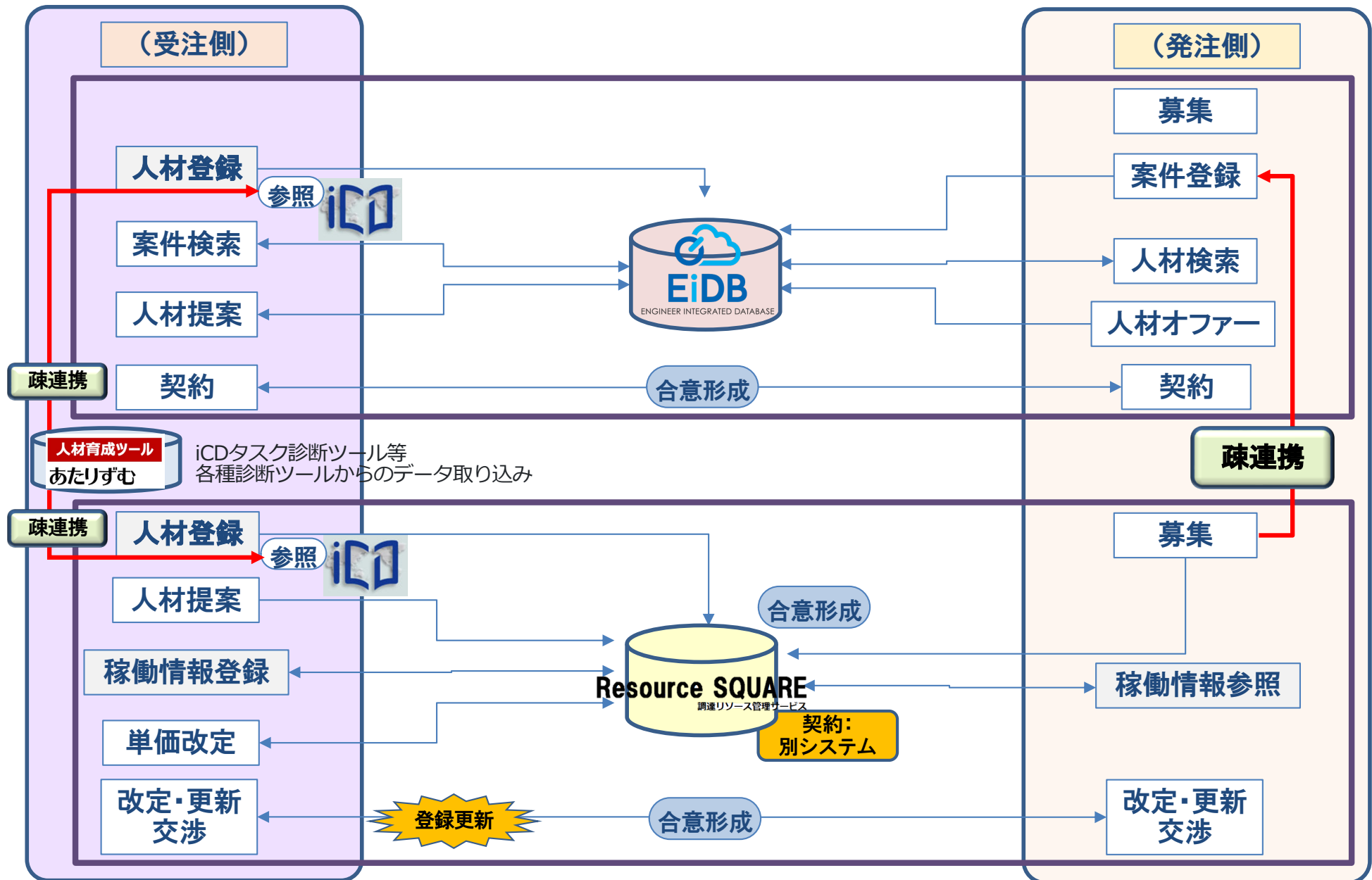
自社の技術者の**職務プロフィール情報の共有**をお願いいたします。

各技術者の「iCDタスク診断」を実施頂き、その結果を共有頂くことをお願いいたします。

上記はEiDB上での共有となります。登録方法などはデモにてご案内申し上げます。

参加企業各社で、案件と人材を共有、マッチングを実施、**業務遂行後に、マッチング満足度のアンケートにご回答**頂くことをお願いいたします。

2-2.iCDを指標としたマッチングモデル構想



2-3.実証プロジェクト参加のお願い

■ 実証プロジェクト推進チーム(HRマッチング部会)

- ・(株)エンテックス 「EiDB (Engineer Integrated DataBase)」
概要: 人的リソースの情報収集検索(登録と紹介)を目的としたサービス
- ・(株)日立ソリューションズ東日本 「調達リソース管理サービス」
概要: 人的リソースの管理、評価を目的としたサービス
- ・(株)ファインドゲート 「あたりずむ(人材育成・職務プロフィール管理)」
概要: 人材育成と人材マネジメントの業務効率化を目的としたサービス

※ 推進メンバーの募集も行っております。お気軽に事務局までご連絡ください。

上記サービスを連携し、ソフトベンダとユーザを直結させるサービスを目指します。
評価やマッチングにおいては、タスクとスキルの標準化・共通尺度が不可欠であり
iCD協会活動と共有することでプロジェクトを推進しています。

- iCD協会にとって
 - i)HRマッチングの管理項目にiCDを適用することで、客観性や精度の向上を図ることが期待でき、業界の基盤構築に寄与できる。
 - ii)実際のマッチングを通じたモデル検証・改善することで、実証性を高められる。
- プロジェクト参加企業にとって
 - i)既存システムを利用することで、速やかに案件・人財獲得でき、品質・満足度向上が期待できる。

2-4.実証プロジェクト参加のお願い

- (1) 本システムに関心ある企業様(受注／発注企業)
 - (2) iCDを適用したマッチングに関心ある企業様
 - (3) 人材の分析、評価など関心ある企業様
- は下記事務局までご連絡お願いいたします。

【連絡先】

HRマッチング部会事務局

株式会社エンテックス 事業推進担当 久保田謙司

TEL:03-6384-1568

e-Mail:v-kubota@emtechs.co.jp

個別に事務局からご連絡させていただきます。

ご連絡お待ちしております。

付録：マッチング向上に向けたソリューションのご紹介

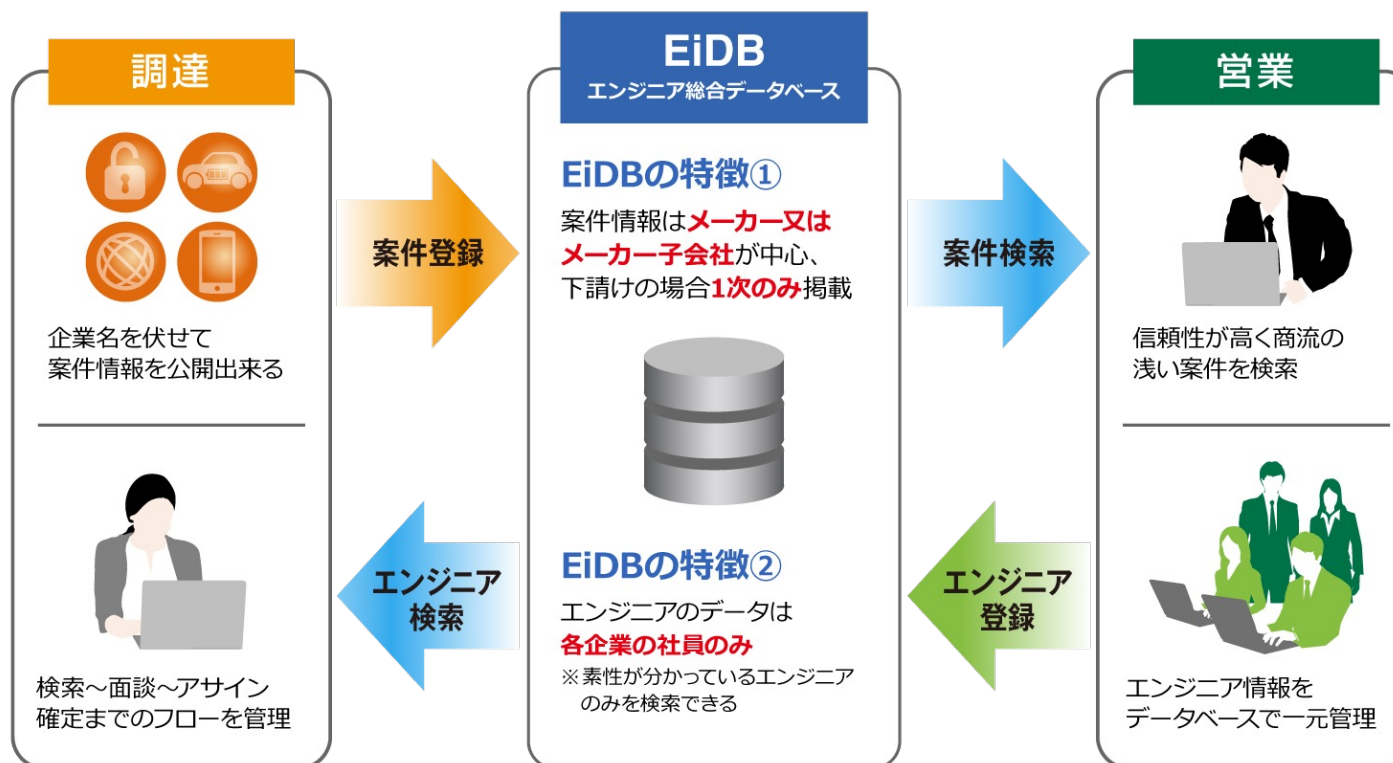
- ① 案件・人材マッチングサービス「EiDB」
- ② 調達リソース管理サービス「Resource SQUARE」
- ③ 人材育成タレントマネジメントツール「あたりずむ」

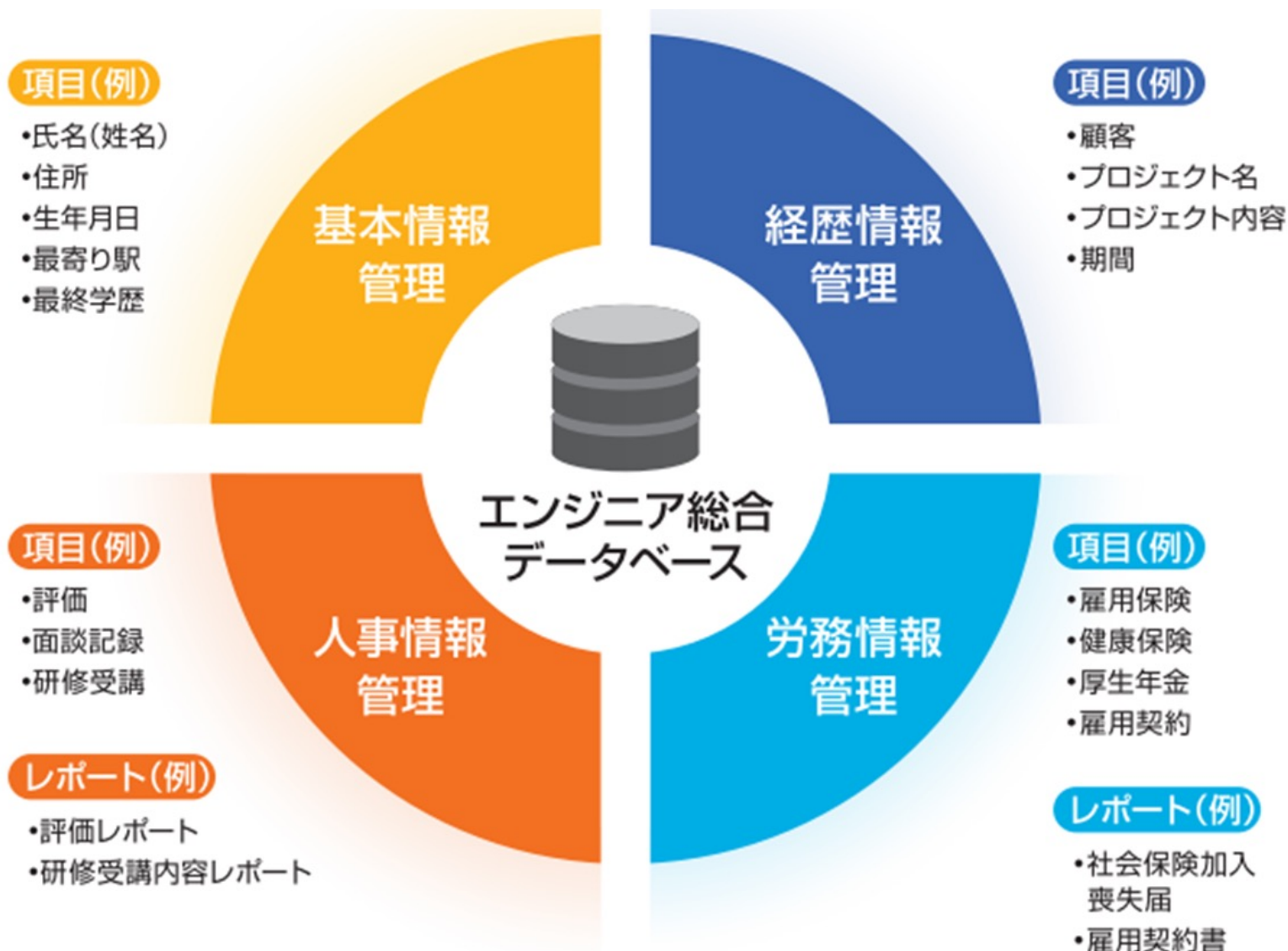
①案件・人材マッチングサービス 「EiDB」

◆ EiDB (Engineer Integrated DataBase)

◆ EiDBの目的

- 現在のソフトウェア開発系アウトソーシング市場は、SES契約という名の下に3次請け、4次請けなど多層契約が横行し、中抜き業者が大きく市場を占めています。
- その状況に危機感をもち、SES契約をよりどころにした多層契約を是とする業界構造を壊し、魅力ある業界に生まれ変わることを目的として、EiDB (EngineerIntegratedDataBase) を運用する運びになりました。





②調達リソース管理サービス 「Resource SQUARE」

②調達リソース管理サービス「Resource SQUARE」



③人材育成タレントマネジメントツール 「あたりずむ」

③人材育成タレントマネジメントツール「あたりずむ」

あたりずむ



人材育成ツール

あたりずむ

業績向上サイクルを加速させる
クラウド型仕組みづくりグループウェア

一人ひとりの成長から
事業の成長を生み出す

人材育成の仕組みづくり



あたりずむの特徴

- ・社員育成アイテムを統合（オールインワン）
- ・人材育成のための業務負担を大幅削減
- ・支え合える仕組みで、意欲向上と業務貢献度アップ



■あたりずむの機能概要

人材育成機能

eラーニング / 研修フォローアップ（研修受講管理・研修運用マネジメント）
キャリアUPサポート（iCDタスク診断目標設定進捗管理・スキルレベル設定・MBO目標管理）

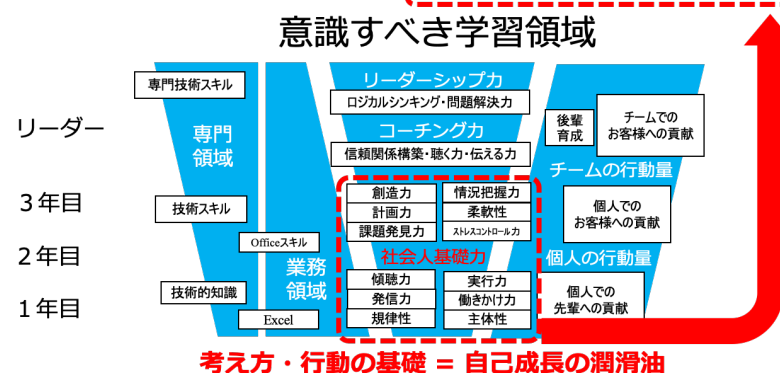
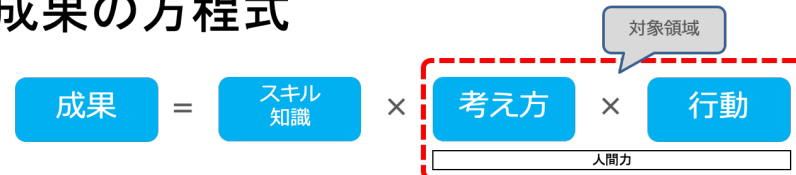
タレントマネジメント機能

マイキャリア（キャリアパス・職務経歴書・取得資格）
マイオフィス（人材検索・人材分析・案件管理・アサインメント管理）

コミュニケーション機能

事務局からのお知らせ / 掲示板 / メッセージ / スケジュール / グループ / 確認です！メッセージ / アンケート / 決済申請 / レポート / 面談マネジメント / 気にかけてメッセージ / プレゼンス

成果の方程式



③人材育成タレントマネジメントツール「あたりずむ」

■ 人材の可視化：業務遂行能力診断



■ レベルUP状況：組織の状況を確認する



導入後、すぐにご利用いただけます。

